



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キングジム
 コード番号 7962 URL <http://www.kingjim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 原田 伸一
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月28日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3864-5883

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年6月21日～平成27年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	24,060	10.0	762	△23.5	904	△16.5	673	18.2
26年6月期第3四半期	21,863	3.7	996	134.4	1,083	106.9	569	30.3

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 1,082百万円 (77.9%) 26年6月期第3四半期 608百万円 (△27.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	23.71	23.68
26年6月期第3四半期	20.50	20.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	30,571	19,322	62.2	669.24
26年6月期	28,268	18,308	63.8	635.06

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 19,006百万円 26年6月期 18,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年6月期	—	7.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年6月21日～平成27年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	10.8	1,150	3.3	1,200	0.4	700	△19.4	24.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期3Q	32,459,692 株	26年6月期	32,459,692 株
27年6月期3Q	4,059,013 株	26年6月期	4,063,297 株
27年6月期3Q	28,399,192 株	26年6月期3Q	27,804,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果により、一部では企業収益や雇用環境等の改善が見られ、国内経済は緩やかな回復基調が見られました。しかしながら昨年4月の消費税率の引き上げや円安の進行等による物価上昇の影響もあり、国内景気は依然として不透明な状況が続いております。

この様な状況のもと、当社グループでは、数多くの新製品を発売し、新たな市場の創出と獲得に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高 240億 6,005万円（前年同期比 10.0%増）、営業利益 7億 6,248万円（前年同期比 23.5%減）、経常利益 9億 482万円（前年同期比 16.5%減）、四半期純利益 6億 7,338万円（前年同期比 18.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「ライフスタイル雑貨事業」を「インテリアライフスタイル事業」に名称変更いたしました。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

① 文具事務用品事業

電子製品におきましては、ラベルライター市場では、従来機種の約2倍の速さでラベル作成ができ、大量にラベルを印刷する際の作業効率が大幅にアップした「テブラ」PRO SR970をハイスペック機種として発売した他、平成25年2月に発売して以来、幅広い世代の女性から高いご支持をいただいております「ガーリーテブラ」に、本体色パールブルーをラインアップに追加して発売いたしました。デジタル文具では、名刺データをダイアル操作で登録・検索できるデジタル名刺ホルダー「メックル」、大量の名刺をまとめてデータ化管理できるデジタル名刺ボックス「ビズレージ」の2機種を、デジタル名刺整理用品として発売いたしました。オフィス環境改善用品では、平成26年9月に災害時等での一時滞在の際に便利な「着る布団&エアーマット」を発売しご好評をいただいておりますが、平成27年3月には子供や小柄な方でも対応できるようにSサイズをラインアップに追加して発売いたしました。また、平成26年12月に発売した微弱な静電気で紙類を吸着させる「ラックージ」壁掛けタイプは、病院や食品工場等、幅広いお客様からご支持をいただいております。今後も引き続きこのような独創的な商品をもって新規チャネルの獲得を図ってまいります。

ステーションナリーにおきましては、表紙がパタンと360°折り返せるクリアーファイル「パタント」や、書きやすさを追求し、手に触れない新しいリング式とじ具を採用したバインダーノート「テプレヌ」等、お客様の利便性を追求した商品が高いご支持をいただいていることから、今後も特長豊かな製品のご提案に努め、需要の拡大を図ってまいります。

この結果、売上高は 186億 3,451万円（前年同期比 0.6%減）、営業利益は 6億 972万円（前年同期比 25.7%減）となりました。

② インテリアライフスタイル事業

前第3四半期連結会計期間末より新たに連結対象となった㈱ぼん家具では、歳末セールや新春セールに加え、㈱アスカ商会とのコラボレーションによるクリスマスグッズの高級商品群のラインアップの追加や手軽に使える暖房機器など、今後の新たな季節商材の拡充を図りました。㈱アスカ商会では、㈱ぼん家具とのコラボレーションの他、壁面装飾や観葉植物ブームに適した高品質なアーティフィシャルグリーン商品の拡販に努めてまいりました。㈱ラドンナでは、リラックス空間を演出する「スピーカー&アロマディフューザー tomori（トモリ）」を、㈱Gクラッセでは、Toffyシリーズのアイテム追加とマジックボックスの新製品を投入し、チャネル開拓と拡販に努めてまいりました。

この結果、売上高は 54億 2,553万円（前年同期比 74.4%増）、営業利益は 1億 4,389万円（前年同期比 12.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、23億 330万円増加し、305億 7,160万円となりました。これは主に、文具事務用品事業の需要期による受取手形及び売掛金の増加や、商品及び製品の増加、退職給付に係る資産の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、12億 8,915万円増加し、112億 4,867万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、10億 1,415万円増加し、193億 2,293万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加や、その他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付に係る資産が 484,478千円、利益剰余金が 311,810千円それぞれ増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 9,092千円減少しております。

（4）追加情報

（法人税率の変更等による影響）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）および「地方税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第2号）が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の35.64%から平成27年6月21日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については33.06%に、平成28年6月21日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.30%となります。

なお、変更後の法定実効税率を当第3四半期連結会計期間末に適用した場合、繰延税金負債（繰延税金資産の額を控除した金額）が 33,006千円、法人税等調整額が 7,901千円それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が19,218千円、繰延ヘッジ損益が 166千円、退職給付に係る調整累計額が 5,720千円それぞれ増加します。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,393,912	5,546,269
受取手形及び売掛金	4,805,090	5,727,945
有価証券	10,478	10,481
商品及び製品	5,503,394	6,203,840
仕掛品	419,954	428,378
原材料及び貯蔵品	1,283,613	1,200,838
繰延税金資産	257,968	261,067
その他	946,035	565,699
貸倒引当金	△9,932	△9,983
流動資産合計	17,610,515	19,934,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,878,174	5,474,073
減価償却累計額	△4,157,318	△3,001,838
建物及び構築物（純額）	2,720,855	2,472,235
機械装置及び運搬具	2,689,236	2,898,229
減価償却累計額	△1,926,944	△2,150,075
機械装置及び運搬具（純額）	762,291	748,153
土地	2,071,113	1,643,980
建設仮勘定	22,352	45,651
その他	2,504,755	2,638,673
減価償却累計額	△2,286,515	△2,379,846
その他（純額）	218,239	258,826
有形固定資産合計	5,794,852	5,168,847
無形固定資産		
のれん	1,004,435	836,695
その他	404,334	389,671
無形固定資産合計	1,408,769	1,226,366
投資その他の資産		
投資有価証券	1,780,669	2,034,953
退職給付に係る資産	550,843	1,072,269
繰延税金資産	48,419	50,948
保険積立金	216,174	219,273
その他	1,034,274	1,040,607
貸倒引当金	△176,221	△176,200
投資その他の資産合計	3,454,158	4,241,852
固定資産合計	10,657,779	10,637,066
資産合計	28,268,295	30,571,604

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,019,320	2,405,711
短期借入金	420,000	2,920,000
1年内返済予定の長期借入金	946,000	931,000
未払法人税等	435,713	111,156
未払金	595,781	635,892
役員賞与引当金	12,787	9,710
その他	816,443	1,030,150
流動負債合計	6,246,046	8,043,620
固定負債		
長期借入金	2,944,000	2,171,000
繰延税金負債	246,438	534,654
役員退職慰労引当金	2,755	—
退職給付に係る負債	170,760	193,378
資産除去債務	16,501	13,922
その他	333,018	292,095
固定負債合計	3,713,473	3,205,050
負債合計	9,959,520	11,248,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,514,344	2,513,096
利益剰余金	17,142,188	17,729,806
自己株式	△3,590,842	△3,587,026
株主資本合計	18,044,381	18,634,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,198	395,827
繰延ヘッジ損益	△656	652
為替換算調整勘定	△360,554	△134,402
退職給付に係る調整累計額	149,954	110,235
その他の包括利益累計額合計	△11,056	372,311
新株予約権	17,979	33,162
少数株主持分	257,470	282,890
純資産合計	18,308,774	19,322,932
負債純資産合計	28,268,295	30,571,604

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年6月21日 至平成26年3月20日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年6月21日 至平成27年3月20日）
売上高	21,863,502	24,060,051
売上原価	13,810,693	15,175,658
売上総利益	8,052,809	8,884,393
販売費及び一般管理費	7,056,691	8,121,910
営業利益	996,118	762,482
営業外収益		
受取利息	10,609	11,558
受取配当金	29,576	35,267
為替差益	43,593	90,217
屑売却益	44,675	40,576
その他	26,688	24,305
営業外収益合計	155,143	201,925
営業外費用		
支払利息	28,487	37,410
減価償却費	16,743	12,074
その他	22,722	10,099
営業外費用合計	67,952	59,584
経常利益	1,083,309	904,824
特別利益		
固定資産売却益	1,559	17,156
投資有価証券売却益	—	48,609
資産除去債務戻入益	—	2,801
特別利益合計	1,559	68,567
特別損失		
固定資産除売却損	3,739	2,166
減損損失	162,792	—
投資有価証券評価損	—	8,999
特別損失合計	166,531	11,166
税金等調整前四半期純利益	918,336	962,224
法人税、住民税及び事業税	328,429	244,696
法人税等調整額	7,293	30,722
法人税等合計	335,723	275,419
少数株主損益調整前四半期純利益	582,612	686,805
少数株主利益	12,734	13,417
四半期純利益	569,878	673,388

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年6月21日 至 平成26年3月20日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年6月21日 至 平成27年3月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	582,612	686,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,035	195,628
繰延ヘッジ損益	△460	1,308
為替換算調整勘定	△59,840	238,154
退職給付に係る調整額	—	△39,719
その他の包括利益合計	25,734	395,371
四半期包括利益	608,347	1,082,177
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	610,227	1,056,757
少数株主に係る四半期包括利益	△1,880	25,420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年6月21日 至平成26年3月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,752,356	3,111,146	21,863,502	—	21,863,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54,276	115,215	169,491	(169,491)	—
計	18,806,633	3,226,361	22,032,994	(169,491)	21,863,502
セグメント利益	821,018	164,326	985,344	10,773	996,118

(注) 1. セグメント利益の調整額 10,773千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「文具事務用品事業」において、当社が売却を進めている遊休資産については、売却時に見込んでいた売却損失を減損損失として計上しております。また、電子書籍・出版ソリューションに係るのれんおよび自社利用ソフトウェア等については、売上不振につき回収可能価額をゼロと見積り、減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、162,792千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「インテリアライフスタイル事業」において、当社は株式会社ぼん家具の株式取得および株式交換により、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において989,559千円であります。また、「文具事務用品事業」において、電子書籍・出版ソリューションに係るのれんについては、売上不振につき回収可能価額をゼロと見積り、減損損失を計上しております。当該事象によるのれんの減損損失額は、当第3四半期連結累計期間において23,097千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年6月21日 至平成27年3月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,634,516	5,425,535	24,060,051	—	24,060,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,328	112,371	177,699	(177,699)	—
計	18,699,844	5,537,906	24,237,751	(177,699)	24,060,051
セグメント利益	609,726	143,899	753,625	8,856	762,482

(注) 1. セグメント利益の調整額 8,856千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「ライフスタイル雑貨事業」を「インテリアライフスタイル事業」に名称変更いたしました。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称を用いております。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。